



国際ロータリー第2800地区

会長 加藤 功
幹事 富樫 松夫

鶴岡ロータリークラブ

例会日：毎週火曜日 午後12:30～1:30

例会場：鶴岡市錦町 東京第一ホテル鶴岡

事務局：鶴岡市馬場町11-63(産業会館3F) TEL 0235-28-3375

超私の奉仕

第2291回 例会会報 平成17年11月1日(火) 晴(本年度 第17回)

会長報告

加藤 功

2005-06RI 会長カール・ヴィルヘルム・ステンハマー Carl Wilhelm Stenhammar は、RI 会長メッセージ『職業奉仕こそ超私の奉仕の実践』のなかで「ロータリアンは若い人々が仕事を持ち、社会人としての生活を、安心して始める環境を整えるに足る手段と能力を持っています。私たちは彼らに情報を与え、教育し、訓練する事が出来ます。」と述べている。(「ロータリーの友」10月号)

今回は、「職業奉仕」を先人に学ぶというテーマで、農本(主義)思想家、実践教育者であり、よかれあしかれ、国内外に多くの青年に農業に励む機会を作り出した加藤完治について述べる。

その生涯を簡単に紹介すると、「加藤完治 1884-1967(明治16～昭和42)年、大正～昭和期の農本(主義)思想家、満拓移民(満蒙開拓)の指導者。東京都亀戸、旧平戸藩士の子として生まれる。第四高等学校をへて、1906年(明治39)東京帝国大学応用科学科(現、東京大学工学部)に入学したが、病气休学の後、農科大学に転学した。11年に卒業後、内務省地方局に勤務し、帝国農会嘱託として中小農保護政策調査事務にあたった。

1913年(大正2)東大教授、矢作先生のすすめで、愛知県立安城農林学校に教員として勤務。15年には新設された山形県立自治講習所の所長になった。20年大高根農場や萩野農場の開墾を自ら実践、指導し、独自の教育方針で中堅農業関係者を育成する。これは、寛克彦の説く古神道にもとづく農民教育であった。

「国民高等学校と農民文明」の日本語訳が出版された直後の1915年(大正4年)に、大正天皇大典記念事業として藤井武(山形県理事官、その後無教会派キリスト教伝道者として立つ決心をかため退官した)が県知事と議会にはかって山形県立自治講

習所を設立した。彼が、優良村の自治の実態をみると、リーダーシップのとれる中心人物がいることから、そうした人物の育成が村の発展のために必要である、と判断して「…地方青年に公民的智育及び徳育を授けると共に農村生活の価値及び趣味並び農村興廢の原理及び方策にかんする知識を授け、以て一般地方民の堅実なる思想を涵養し、併せて行政機関の当事者たるべき適材を養成せしめんとする」ことが目的とされた。

「加藤完治は農民の精神的教育の指導方法として、剣道の直心影流の鍛錬方法を取り入れたのである。『真剣な農業労働は武道に比して遜色ない、大和魂の鍛錬方法である。』と毎日の日課の中にも武道を取り入れ、法定の型を実施することによって剣道修行の根本精神と農業修業の精神を結び付け、指導の規範としている。こうした彼の思想は神道的国家主義を主張した寛の皇国精神の思想である。したがって、当初県が計画していた地方自治の人材育成機関的性格はうすれ、加藤完治流の『農民道場』的性格となっていたことは否めない事実である。」(村山市史編集資料第十四号、1985.3 委員長柏倉亮吉)

山形県立自治講習所修了生に触発された産業組合青年同盟の会員は産業組合運動を起こし、山居倉庫(御家禄派経済基盤)に対抗して産業組合米穀倉庫の建設に精力的に取り組んだ。山木武夫(参議院議員)をはじめ農民の品性を高め、農業、農村の発展に貢献した幾多の有為な人材を輩出した。

さて、10月25日(火)例会終了後には、職業奉仕事業として「木村屋」を研修視察することができました。木村屋さん大変有難うございました。また、参加された皆さん、ご苦労さんでした。

なお、本日は、石黒慶一ガバナーの公式訪問があり、いろいろとご指導を受ける機会に恵まれて、適切なアドバイスをいただき大変有難うございました。

自分にも出来る温暖化防止

ストップ! アイドリング

ガバナー公式訪問

R. I. D. 2800ガバナー 石黒慶一



昨年度はロータリー 100 周年の年を過ごしました。100 年続く組織は極めて希であり、100 年続いた

ロータリーの歴史は我々の人類への奉仕活動が成功して来たこと、世界でロータリーがこれまで必要とされ、今後もまだまだ必要とされていることを証言してくれていることだと思います。

ロータリーの新世紀を迎えた今年度、ステンハマー RI 会長は今年度のテーマに『超我の奉仕 Service above Self』を提示しました。「超我の奉仕」(1911 年ポートランド国際大会：フランク・コリンズ発表) および「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」(1910 年シカゴ国際大会：アーサー F. シェルドン発表) は、ロータリーの公式標語 (Rotary Motto) であり、中でも「超我の奉仕」は、自己のために利益を得ようとする欲望と、他人に奉仕しようとするロータリーの根本的な理想を効果的に表現している標語であると思います。

「1911 年から 95 年間、この標語は、私達が人道的奉仕を遂行し、高い道徳的水準を推進し、国際理解と平和のために活動する上で、根底をなす動機となってきました。私達の生活に内在するあらゆる事象と同じように、この標語を私達は自然に受け入れることができます。来る年度、すべてのロータリアンに「超我の奉仕」の真の意味をじっくり考えていただく機会が与えられます。」というステンハマー RI 会長の言葉を、ロータリー新世紀を迎えて RI2800 地区の会員一人ひとりがその真意を汲み取って下さい。

私は、このステンハマー RI 会長の真意を地区内ロータリアンに理解と実践をして頂くべく地区目標「地域、クラブ、個人からの新しい超我の奉仕への発信—ロータリー新世紀を迎えて、あなたは何ができますか—」を設定しました。「超我の奉仕」という言葉は画一的なものではなく、これまでの歴史を紐解きながら、ロータリアン一人ひとりが内なる情熱で達成しなければならないものと思います。私は会員の潜在能力を信じ、新世紀に向けての発展を期待するものです。

「超我の奉仕」により、貴クラブ並びに会員各位の今後益々のご発展を祈念して公式訪問に当たってのご挨拶とさせていただきます。

委員会報告

●出席委員会

委員長 阿蘇司朗

本日の出席		前々回の出席	
会員数	47人	出席率	71.11%
出席数	31人	修正出席数	36人
出席率	67.39%	確定出席率	80.00%

●メイクアップされた方

榎本政規君・藤川享胤君・大瀧 薫君・石田 雄君
加藤 功君・越智茂昭君・富田喜美子君・若生恒吉君

●親睦委員会

委員長 上野欣一

11月誕生：藤川 享胤君・佐々木喆彦君
杉本 栄治君・大瀧 薫君
丸山 隆志君・石田 雄君
佐藤 友行君

配偶者誕生：越智一江様・阿部千津子様
加藤節子様

新入会員紹介



氏 名 西川富美子
入 会 2005.11.1
生年月日 S35.8.10
勤 務 先 華夕日 日本海
勤務先住所
鶴岡市下川字窪畑 1-523
Tel: 0235-75-2021

趣味・特技 ゴルフ・スキューバダイビング

スマイル

石黒慶一君 公式訪問で歓迎を受けて感謝申し上げます。

藤川享胤君 石黒ガバナーありがとうございます。西川さんよろしく。

加藤 功君 石黒ガバナーご訪問ありがとうございました。大変ありがたいご指導を頂きました。

富樫幸弥君 今年度後半もよろしくお願いします。

富樫松夫君 ○石黒ガバナー、富樫ガバナー補佐、公式訪問ご苦労様です。○西川さんの入会を歓迎致します。○親睦委員会打合せの残金スマイルします。

本間昭吉君 吉野さん、先日は工場見学にご案内いただき、そのうえにおみやげを頂戴致しありがとうございました。

真島吉也君 過日写真クラブに大勢おいでいただきありがとうございました。

佐藤孝子君 ガバナー、ガバナー補佐、新入会員の西川さんを歓迎して。